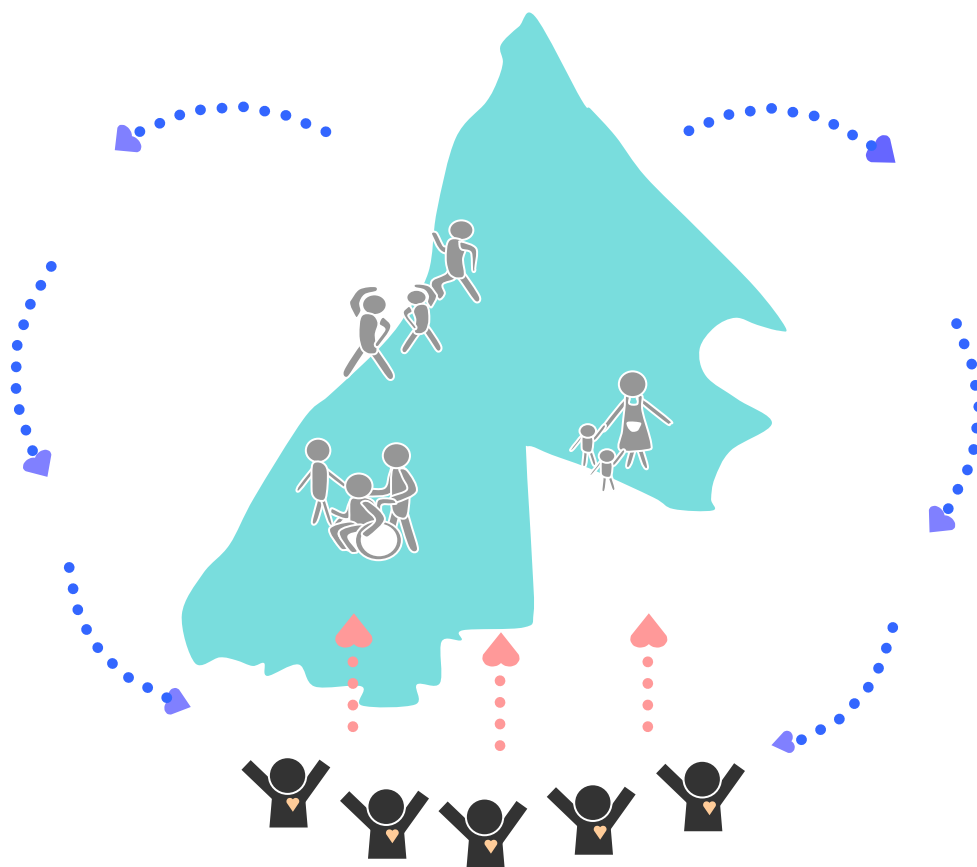


令和3年度
「すみだの力応援成事業」「すみだの夢応援成事業」
実施報告会
プログラム



令和4年5月22日（日）午後1時～
墨田区 地域力支援部 地域活動推進課

目 次

はじめに	2
プログラム	
■ 実施報告会スケジュール	3
■ 実施報告会の方法（ルール）	3
令和3年度「すみだの力応援助成事業」一覧	4
令和3年度「すみだの夢応援助成事業」一覧	5
すみだの力応援基金 令和3年度 運用状況	7

はじめに

墨田区では、地域の課題解決に向けて、区民の皆さんと区が、ともに考え、ともに行動する「協治（ガバナンス）によるまちづくり」を推進しています。そのような中、平成24年3月、「墨田区協治（ガバナンス）まちづくり推進基金条例」を制定し、この条例に基づき、同年4月、「すみだの力応援基金（協治（ガバナンス）まちづくり推進基金）」を設置しました。

「すみだの力応援基金」は、皆さんからの寄付等を財源として積み立て、区民等が自主的・主体的に取り組むまちづくり活動を資金面から支援するものです。基金が設置された平成24年4月からの10年間、総額約2,240万円の寄付を皆さんからお預かりし、当基金に積み立て、「すみだの力応援助成事業」として様々な団体への支援を行ってまいりました。

また、平成29年度から当基金を活用した新たな助成の枠組みとして「すみだの夢応援助成事業」を開始しました。応援するプロジェクトを指定して寄付することができるクラウドファンディング型の助成事業で、令和3年度までの5年間で総額約2億484万円の寄付が集まりました。

さて、本日の実施報告会は、令和3年度に「すみだの力応援基金」を活用し、事業を実施した団体の皆さんから、その取り組みについてご報告していただき、活動成果を確認するものです。皆さんからの寄付を原資とする「すみだの力応援助成事業」及び「すみだの夢応援助成事業」を通じて、区民同士の支えあいによる地域社会の実現を目指すなど、「協治（ガバナンス）によるまちづくり」の一層の促進を図ることとします。

プログラム

■ 実施報告会スケジュール

開始時間	団体名	事業名
13:00～	開会（挨拶・発表方法の説明）	
すみだの力応援助成事業		
13:10～	特定非営利活動法人すみだ多文化共生交流会	すみだでつながる多文化交流
13:24～	すみだ新製品開発プロジェクト	災害時には地域支援ができる移動図書館リヤカー事業
13:38～	墨田区青少年育成委員会連絡協議会	すみだっ子たちの夢支援
13:52～	SmilelyMarket	SmileFestival
14:06～	一般社団法人うちナース	コロナ禍のこどもたちがいきいき育てる街に！
14:20～	休憩（10分）	
すみだの夢応援助成事業		
14:30～	株式会社セラピア	学校では教えない！「キミのアイデア、スマホアプリ化」プロジェクト
14:44～	特定非営利活動法人寺島・玉ノ井まちづくり協議会	車イスでも野菜作りをしたい！子供たちと蛍を灯したい！“たもんじ交流農園”
14:58～	一般社団法人 SSK	移動式遊び場（プレイカー）事業
15:20～	公益財団法人新日本フィルハーモニー交響楽団	新日本フィル「音楽の力で人とまちを元気に」プロジェクト
15:26～	特定非営利活動法人燃えない壊れないまち・すみだ支援隊	地域の魅力と安心を包む「防災観光ふるしきプロジェクト」
15:40頃	閉会	

※各団体による実施報告の開始時間は、プログラム進行の都合上、前後する場合がありますので、予めご了承ください。

■ 実施報告会の方法（ルール）

- (1) 実施報告を行う人数は、各団体3名以内とします。
- (2) 1団体の発表は7分以内とします。助成事業の内容を中心にご報告ください。
- (3) 報告終了後、協治（ガバナンス）まちづくり推進基金審査会委員による質疑を7分程度行いますので、要点を簡潔にお答えください。
- (4) 他団体の報告中における入退室は自由としますが、自身の1団体前の報告開始時間には、入室してください。
- (5) 傍聴者の発言など、審査に影響を及ぼす意思表示は認められません。

令和3年度「すみだの力応援成事業」一覧

◆ステップアップ応援コース

	【団体名】事業名	助成金額
1	【特定非営利活動法人すみだ多文化共生交流会】 すみだでつながる多文化交流	430,000 円
	墨田区在住の 92 か国、12,000 人の外国人を対象に実施。地域生活のうえで、相互の文化を学びながら、交流を深める活動を主として実施しました。 (1) 「多文化交流カフェ」を開設。毎月 1 回サロン形式で、外国人が主体となり、暮らしの問題解決や文化交流のための企画・提案を行いました。 (2) 墨田区在住の外国人の暮らしのアンケートの収集と報告を行いました。 (3) 「すみだ多文化交流チャンネル」を開設。墨田区在住の外国人が、動画配信で、母国の文化を紹介。墨田区在住の 92 か国の外国人の紹介をすることで、すみだに居ながら世界の文化と触れ合うことを目的としました。	
2	【すみだ新製品開発プロジェクト】 災害時には地域支援ができる移動図書館リヤカー事業	500,000 円
	ソーラーパネルや蓄電池を搭載した、災害時にはスマホの充電など地域支援ができるリヤカー型の移動図書館（北斎丸）を製作し、移動図書館を実施しました。 図書のほか、災害時に役立つ非常用トイレや防災グッズも積載し、いざという時に備えつつ、月に 1 回程度移動図書館を開催。けん玉や縄跳びなど子供の遊び道具も積載して区民の交流の場を提供しました。	
3	【墨田区青少年育成委員会連絡協議会】 すみだっ子たちの夢支援	500,000 円
	①子どもたちの夢をネットのサイトに投稿及び学校に提出。 ②子どもたちの夢を審査・選定しサイト上にアップし、公開。 ③支援者がサイトを閲覧し、「支援」を投稿。 ④支援内容と方法をマッチングし、支援者と希望する子どもたちの意向が合致したものについて実施。 コロナウイルス感染防止のため、多くが春休みに延期となりましたが、187人の投稿があり、51人の夢支援が実現しました。	

	【団体名】 事業名	助成金額
4	【SmileyMarket】 SmileFestival	176,160 円
	子どもたち自身で、考え、運営する小さな町づくりを通して、経済・社会活動の学びの場としました。チラシを配り集客をする、お店作り、売り物の用意や看板づくりなどの準備から様々なことを子どもたちが主体となって行い、自らが稼いだお金をワークショップなどで使うこともできるよう、お店を用意することでお金の流れを学びました。	
5	【一般社団法人うちナース】 コロナ禍のこどもたちがいきいき育てる街に！	291,500 円
	○妊娠期からの子育てカフェ 太平の子育てカフェ「ごろねのくに」において、専門家による講演イベントを月 1～2 回実施、主に医師・助産師・保育士などが登壇しました。また、イベント終了後に参加者同士の交流の時間を設けました。 ○シングル支援 ・毎週月曜の朝 7 時より、パンと飲み物を安価で提供しました。 ・区内福祉施設と連携し、シングル家庭へ食料品を中心とする物資の配布をしました。	

令和 3 年度「すみだの夢応援助成事業」一覧

	【団体名】 事業名	助成金額
1	【株式会社セラピア】 学校では教えない！「キミのアイデア、スマホアプリ化」プロジェクト	595,000 円
	小中学生が自分たちの力で身の回りの人たちや地域が抱える困りごとを解決したり、アイデアを形にして世の中に発信できる世界を実現したりできるよう、スマホアプリの開発講座を提供しました。 20 名の小中学生が 2 か月間、全 8 回の授業で最新の技術の使い方を学び、地域紹介アプリやもぐらたたきアプリを作りました。	

	<p>【特定非営利活動法人寺島・玉ノ井まちづくり協議会】 車イスでも野菜作りをしたい！子供たちと蛍を灯したい！ ” たもんじ交流農園 “</p>	1,118,750 円
2	<p>緑の少ない墨田区に創設した、たもんじ交流農園で、さらに交流の輪を広げていくため、3つのプロジェクトを実施しました。 「ビオトープ蛍プロジェクト」では、各家庭で蛍の幼虫を育成し、夏に蛍の灯を鑑賞します。車椅子の方が農作業できる「可動式プランター」を制作しました。また、ワークショップ形式で「子供の遊び場にもなる木製のイス・テーブル」を造りました。</p>	
	<p>【一般社団法人 SSK】 移動式遊び場（プレイカー）事業</p>	1,575,000 円
3	<p>「遊びを引き出す道具と素材」を積んで「遊びを支援するプレーリーダー」とともに地域を回る「わくわくを積んで移動する車」＝「移動式遊び場」を作りました。 墨田区らしい「移動式遊び場」を作るために学習会を開いたり、子どもたちと一緒に遊び場づくりを行うためのワークショップを実施しました。完成した「移動式遊び場」で公園や広場を回っています。</p>	
	<p>【公益財団法人新日本フィルハーモニー交響楽団】 新日本フィル「音楽の力で人とまちを元気に」プロジェクト</p>	62,745,450 円
4	<p>普段気軽にホールへ足を運ばない方（福祉施設利用者、中高生等）へのコンサート無料招待やコンサート配信、まちかどに出張してミニコンサートを開催するなど、区内外の人たちに本格的な音楽にふれあう機会を提供しました。 また、小澤征爾氏をはじめとする音楽家との過去の演奏をアーカイブ化し、将来の財産として残していく活動も実施しました。</p>	
	<p>【特定非営利活動法人燃えない壊れないまち・すみだ支援隊】 地域の魅力と安心を包む「防災観光ふろしきプロジェクト」</p>	395,000 円
5	<p>墨田区に住む子どもたちに、まちの魅力を伝えつつ、地域防災の担い手づくり、災害のリスクとイザというときに自分を守る知恵を育むため、『防災観光ふろしき（防災情報と観光名所を示して印刷した風呂敷・絵地図）』を使った「防災学習」を行いました。 また、区内へ通学している高校生に「防災に関する意識」についてのwebアンケートも行いました。</p>	

※事業の概要は各団体の事業実施報告書の内容より抜粋

すみだの力応援基金 令和3年度 運用状況

年度	積立・助成		
令和2年度末 基金残高			8,457,995 円
令和3年度	積立	利子	1,607 円
		寄付 (168 件) (基金への寄付)	2,374,029 円
		寄付 (417 件) (プロジェクト指定寄付)	68,001,000 円
	助成	すみだの力応援助成事業 (6 団体 ※)	1,997,660 円
		すみだの夢応援助成事業 (5 団体)	66,429,200 円 (助成外繰入れ 1,571,800 円)
令和3年度末 基金残高			8,835,971 円

※うち、1団体はスタート応援コース（書類審査のみ）のため、実施報告会には不参加。

□ すみだの力応援基金 令和3年度寄付者の皆さま (五十音順)

西川 佐恵子 様	公益社団法人本所法人会 様
アサヒ飲料販売株式会社 様	マークフロントタワー曳舟管理組合 様
株式会社カスミ 様	松山油脂株式会社 様
社会福祉法人賛育会 東京清風園 様	特定非営利活動法人
株式会社ジェイコム東京すみだ台東局 様	燃えない壊れないまち・すみだ支援隊 様
墨田区障害者団体連合会 様	株式会社リバーポンド (MISUMI プロジェクト) 様
株式会社ダイエー 様	外 匿名 2名 様、 7団体 様
株式会社フクシ・エンタープライズ 様	

計 3 名・19 団体 (述べ 168 件) の皆様から 2,374,029 円のご寄付をいただきました。誠にありがとうございました。

令和3年度
「すみだの力応援助成事業」「すみだの夢応援助成事業」
実施報告会

発行

墨田区

令和4年5月